

環境経営レポート



2023 年2月 1 日～2024 年1月 31 日

2024 年 5 月 24 日

三友電化株式会社

代表取締役 澤中 和弥

目次

1. 組織の概要	3 頁
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日.....	4 頁
3. 環境経営方針.....	5 頁
4. 環境経営目標	6 頁
5. 環境経営計画	7 頁
6. 環境経営目標の実績.....	8 頁
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容.....	9 頁
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反訴訟等の有無.....	10 頁
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	11 頁
10. 環境経営実施体制	12 頁

1 組織の概要

(1) 事業事業者名及び代表者名

三友電化株式会社

代表取締役 澤中 和弥

(2) 所在地

■本社 東京都葛飾区立石 2-8-4

(3) 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者 澤中 和弥

担当者 澤中 京子

連絡先 電話 03-3693-1161 FAX 03-3697-4939

URL <http://sanyudenka.co.jp>

(4) 法人設立年月日

昭和36年 2月 21日

(5) 資本金

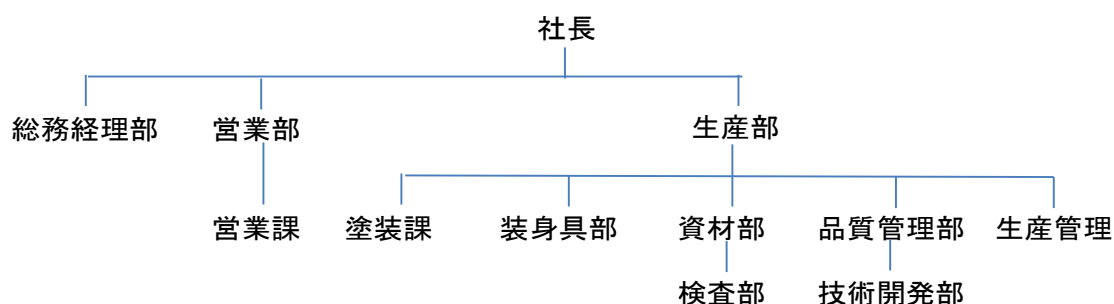
8000万円

(6) 売上高推移

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
100	101	110	102	98	71	89	125

(7) 事業活動の概要 金属・樹脂その他の表面処理加工、表面処理素材の製造、 アクセサリ・記念品等の製造・販売

(8) 組織図



2) 許可・登録の内容

- ①表面処理（メッキ工場）
特定施設設置届出書

許可番号；第 1 水第 1 1 号
許可年月日； 昭和 4 7 年 1 月 2 5 日

3) 施設等の状況

- ①従業員数 ; 27 名
②事業所敷地面積 ; 1,202 m²
延べ床面積 ; 1,375m²
③車両
ア 配送車両； 軽自動車ワンボックス型 2 台
イ 営業車；ワゴン車 1 台

④主要設備；高圧変電設備 1 基、ボイラー 2 基、手動式研磨機 3 基
平面研磨機 1 基、
金、銀、銅、プラチナ、ニッケル、代用金、錫合金、
3 価クロム、6 価クロム 錫コバルト、
一式
電着塗装設備、熱風乾燥装置、自動排水処理装置等

2、 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

- 1) 対象範囲：全組織・全活動 1, (2) 所在地欄に記載 (7) 事業活動の内容に記載
2) レポートの対象期間及び発行日：表紙に記載

三友電化株式会社は全社員が環境に配慮した事業活動に取り組むことで、継続的改善並びに環境負荷を低減し環境関連法規の遵守等を推進し、企業の社会的責任を果たします。

社会と人々の暮らしに役立つ製品の開発を今後目指します。

【環境行動指針】

1. 二酸化炭素排出量削減

- ① 機械設備、空調設備等の効率的な運用により、使用エネルギーの削減に取り組みます。
- ② エコドライブにより、排ガスの抑制に努めます。

2. 廃棄物 排出量削減

- ① 廃棄物の分別を徹底し、リサイクルを促進します。
- ② 中間処理廃棄物は、リサイクルを行うことができる業者に委託します。

3. 水使用量削減

- ① 節水コマ取り付け後も水使用時の使いすぎに注意する
- ② 水道配管からの漏洩を定期的に点検します。
- ③ 排水処理装置の適正管理につとめます。
- ④ 雨水の有効利用に努めます。

4. 化学物質使用量の削減

- ① 有害性化学物質の記録、管理に努めます。
- ② 揮発性有機化合物の排出抑制に取り組みます。
- ③ SDS(安全データシート)による管理に努めます。

5. 自ら製造販売、提供する製品について

- ① 環境配慮の開発・設計に努めます。
- ② 省資源・省エネ生産技術確立、不良品削減、歩留まり向上及び平準化生産等に努めます。
- ③ 環境配慮製品・サービスの販売目標を定め、販売促進に努めます。

6. 環境意識の向上を図るために、この環境方針を全社員に周知し一般にも公開します。

令和6年5月24日改定
三友電化（株）代表取締役 澤中 和弥

4. 環境経営目標

P6

	環境方針項目		基準値	CO2	年 度 目 標		
			H28 年 1～12 実績	換算係数	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 2.5%削減	基準値に対し 2.5%削減	基準値に対し 2.5%削減
			651,516	0.405	635,228	6352,286	635,228
			kWh／年		kWh／年以下	kwh／年以下	kwh／年以下
		化石燃料 消費量の削減	油種別消費量		基準値に対し 2.5%減	基準値に対し 2.5%削減	基準値に対し 2.5%削減
			ガソリン <L／年>		2,747.55	2,747.55	2,747.55
			2,818	2.32	L／年以下	L／年以下	L／年以下
			都市ガス<N m ³ /年>		66,583.16	66, 583.16	66,243.45
			67,942	2.16	N m ³ ／年以下	N m ³ ／年以下	N m ³ ／年以下
			kg-CO ₂ ／年		407, 462	407, 462	407, 462
		kg-CO ₂ ／年以下		kg-CO ₂ ／年以下	Kg-CO ₂ ／年以下	Kg-CO ₂ ／年以下	
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量		基準値に対 2%削減	基準値に対 2.5%削減	基準値に対し 2.5%削減
			3,002		2,941.9	2,926.95	2,926.95
			kg／年		kg／年以下	kg／年以下	Kg／年以下
		産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量		基準値に対して 2.5%削減	基準値に対し 2.5%削減	基準値に対し 2.5%削減
			57,910		56,462	56,462	56,462
			kg／年		kg／年	kg／年	kg／年
		コピー用紙使用量の削減	使用量		基準値に対し 2%削減	基準値に対し2%削減	基準値に対し2%削減
			37.6		36.84	36.84	36.84
			Kg/年		Kg/年	kg／年	kg／年
3	水使用量削減	水使用量の削減 <水道使用量：m ³ >	水道使用量		基準値に対し 2%削減	基準値に対し 3%削減	基準値に対し3%削減
			20,194		19,790	19,589	19,589
			m ³ ／年		m ³ ／以下	m ³ ／年以下	m ³ ／年以下
4	化学物質使用量の削減 <化学物質使用量：kg>トリクロロエチレン 製造量に比例のため使用量の記録、管理、削減プラン		化学物質使用量		基準値に対し 2%減	基準値に対し 2.5%削減	基準値に対し 2.5%削減
			2, 5105		2,4603	2,4477	2,4477
			kg／年		kg／年以下	kg／年以下	Kg／年以下
5	環境配慮製品サービスの提供		28 年度より 不良品の削減		3%	3%	3%

電力の CO₂換算係数は、東京ガス電力排出係数 0.405 kg CO₂/kWh 使用

5. 環境経営計画書(年度:令和5年2月～令和6年1月)

環境経営目標項目		取組項目	責任者	担当者	取組内容
二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	①電力管理の徹底 ②照明管理の徹底 ③加熱・乾燥機の省エネ ④空調管理の徹底	澤中和弥	澤中和弥	①最大電力の抑制、デマンドコントローラーの設置 ②適正照度の維持、不要時のこまめな消灯、LED照明器具への変更 ③乾燥温度の適正化、熱風循環による乾燥効率の向上
	2)化石燃料消費量の削減	①エコドライブの励行 (燃費向上)			①急発進・急加速や空ふかしの排除、駐車中のエンジン停止等を励行する ②配送ルートの適正化に取り組んでいる ③積載効率の効率化に努めている
廃棄物排出量の削減		①紙類使用量の削減 ②プラスチック類使用量の削減 ③かん・ビン類使用量の削減 ④分別の徹底 ①産業廃棄物の排出抑制 ②産業廃棄物の再使用・再利用 ③産業廃棄物の適正処理	澤中和弥	手塚	①紙類使用量の削減 ・会議用資料や事務手続き書類の簡素化に取り組んでいる ・コピー用紙、再生紙または未利用繊維への転換を図っている ・使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫している ・シュレッダーの使用を機密文書に限り、シュレッダー処理紙のリサイクルに努めている ④分別の徹底 ・紙、金属缶、ガラスビン、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により分別を徹底している ①産業廃棄物の排出抑制 ・使用後の製品、容器包装等の回収・リサイクルに取り組んでいる ・納品の際の梱包、包装資材等の削減に取り組んでいる。簡易包装の推進、多重包装の見直し等を推進している ・製品等の輸送の際には、繰り返し利用できるパレットや通い箱を利用している ②産業廃棄物の再使用・再利用 ・コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルールを確立し、リサイクルを図っている ・廃液の回収・再利用等を行っている。 ③産業廃棄物の適正処理 ・廃棄物管理票(マニフェスト)を基に廃棄物の適正な処理を行っている。発生したごみは可能な限り、圧縮等を行い、減量している
	水使用量の削減	①節水活動の促進 ②雨水の再利用			・排水処理装置を適切に設置している ・水質汚濁等について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている ・排水等の監視及び測定や排水処理設備の点検を定期的に行い、適正に管理している ・節水を呼び掛けるシールを貼り、節水コマ等の導入、使用量のチェックを行う ・雨水の再利用に取り組む(屋上にタンクを設置、活用する)
化学物質使用量の削減		①化学物質使用量の削減 ②化学物質の管理			・トリクロロエチレンの削減
環境配慮製品・技術の提供		①不良品削減技術の確立 ②環境配慮製品			・不良発生の原因の究明と削減への取組 ・環境に配慮した素材の使用、購入、製品の製造に努める

6. 環境経営目標の実績

P 8

No	環境経営方針項目		基準値		活動期間(2023 年度)令和 5 年 2 月～令和 6 年 1 月			活動期間(2022 年度)	活動期間(2021 年度)
			H28 年 1～12 月実績	CO ₂ 換算 *	目標	実績	達成度 上段: % 下段: 評価	2022 年実績	2021 年実績
1	二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量の 削減	電力使用量<kwh/年 >	0.405	基準値に対して 2.5%削減 635.2281	547,644	16%down ○	557,666	630,096
			651,516						
		化石燃料消費 量の削減	油種別消費量		基準値に対して 2.5%削減	3,296.71	19%up ×	3,201.60	2,658.377
			ガソリン<L/年>						
			2,818	2.32	2,747.55	53,671	24%down ○	55,399	53,694
			都市ガス<Nm ₃ /年>						
			67,942	2.16	66,243.45	345, 374	○	352, 945	377, 334
		計(kg-CO ₂)	417, 156						
			kg-CO ₂ /年以下		406, 728				
2	廃棄物排出 量の削減	一般廃棄物排 出量の削減	廃棄物排出量		基準値に対して 2.5%削減 2,926.95	948.92	31.92%down ○	934.81	930.20
			3002 kg/年						
		産業廃棄物排 出量の削減	産業廃棄物排出量		基準値に対して 2.5%削減 56,462.	102,330	79%up ×	101,500	120,240
			57,910 kg/年						
		コピー用紙使用 量の削減	コピー用紙使用量		基準値に対して 2.5%削減 36.65	34.33	9.1%down ○	31	36.55
			37.6 kg						
3	水使用量の削減<水道使用 量:m3>	水道使用量	水道使用量		基準値に対して 3%削減 19,588.18	14,391	28%down ○	14311	16,949
			20194 m3/年						
4	化学物質使用料の削減 <化学物質使用量:kg>	化学物質使用量	化学物質使用量		基準値に対して 3%削減 24,351.85	28,039.4 9	12.%up ×	18002	24.029.95
			25,105						
			kg/年						
5	環境配慮製品・サービスの提供	不良品の削減	不良品の削減		3%	3%	○	3%	3%
			3%						

* 購入電力の二酸化炭素排出係数は、R4年度の東京ガス電力の二酸化炭素調整後排出係数 0.405 kg-CO₂/kwh を用いた。

7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 P 9

環境目標	取り組み項目	取 組		
		結果	評価	次年度への内容
1. CO2 削減 ①	工場内機械設備 使用電力の削減	○	A	オンデマンドコント ロール等による管理の 徹底と使用移管の変更
①電力消費量削減	事務所不要照明の消灯	○	A	さらに継続する
	エアコンの温度管理	○	A	さらに継続する
	パソコンの未使用電力削減	○	A	徹底する。
	不要照明の消灯	○	A	継続
②ガソリン消費量 削減	通勤使用の会社車両の増加 のため	×	C	今後の課題
	エコドライブの徹底	○	A	運転者は常に心がける
③ガス消費量削減	使用量の管理	○	A	削減案を考える
2. 廃棄物排出量削 減 4 コピー用紙使用 量の削減	一般廃棄物 廃棄物分別の徹底 廃棄物量の計測実施	○	A	さらに継続する 担当者による計測の 継続
	産業廃棄物 排出量の削減	△	B	削減への努力をさらに 続ける。
	裏紙使用	○	A	
3. 水道使用量削減	散水時の節水	○	A	全社員が意識を持って
	手洗い時の節水	○	A	削減に努める
	工場内水使用量の削減	○	A	工場設備の使用量削減計 画を立てる
	(今後の取組課題)			
4. 化学物質使用量 削減(トリクロロ エチレン)	化学物質使用量削減 化学物質の管理	X	C	生産量と比例して使用量 が増えた
5. 環境配慮製品・サ ービスの提供	不良率を軽減させる。	○	A	不良率の軽減の 取組を進める。

A 目標達成 B やや目標値に下回る C さらに努力が必要および課題として解決策を考える

* 次年度の環境経営目標および環境経営計画は、今年度を継続します。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 P10

当社に關係する環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように遵守状況を令和3年12月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありませんでした。

区分	法規制名	組織の取組	遵守状況
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管基準、委託基準、マニフェスト管理等	○
	PCB廃棄物特捜法	保管及び処分の状況報告	○
PRTR法	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法	特定化学物質の排出量 移動量の把握及び届出	○
劇物、毒物	毒物及び劇物取締法	代替品の選択	○
水質	保全に関する条例	指定施設の設置等 公害防止管理者の選任と届出	○
大気	フロン排出抑制法	簡易点検及び廃棄時には法規制に則り廃棄	○
危険物	消防法	危険物保安監督者の選任等	○
安全	労働安全衛生法	有害溶剤作業主任者の選任、リスクアセスメント他	○

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

P11

エコアクション 21 の取組活動は平成 22 年より継続しておりますが、

今期の円安の状況から材料費、光熱費等の高騰等の影響が大きく、受注が多くなっても、利益率は厳しい状態であり、当社はコロナ明けの市場回復の見込みを示唆する得意先の受注増大などに伴い、令和 5 年度の売り上げは伸びたが、今期に継続されるほどではなく不安材料が取引先の受注控など現時点での世界的な情勢不安の影響はさまざまなところに波及していると思われる。

得意先との交渉も難しく、材料高騰と同じ比率のコスト Up は、生産中止という得意先の判断を招く恐れがあり、闇雲に交渉の材料となり得ません。

作業工程の見直し、不良率の低減等の努力を行い他社との競争力を高めることが今後の課題となります。

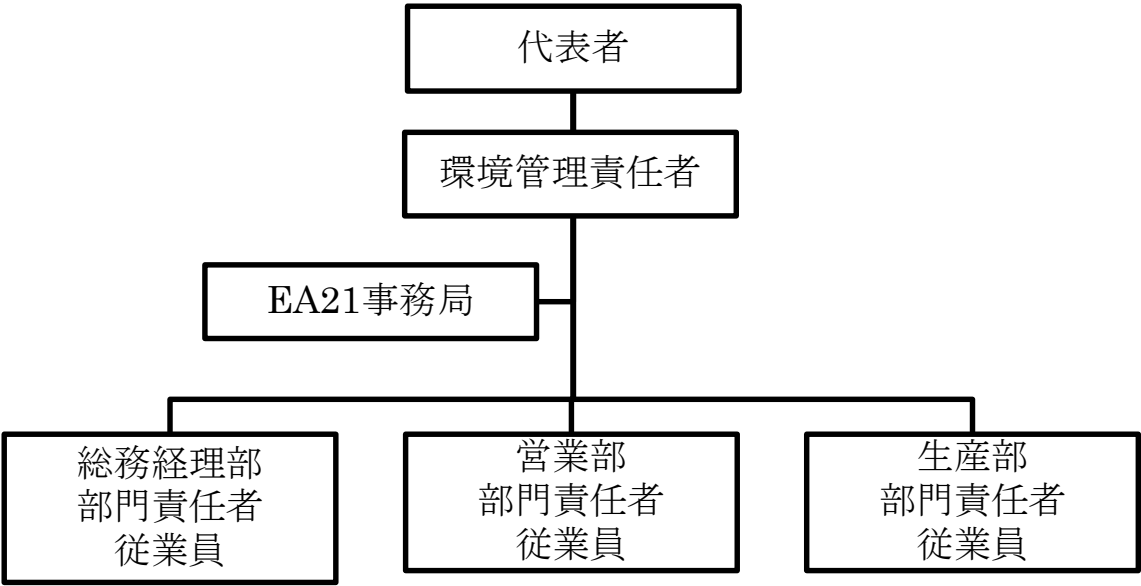
中小製造業の現実と予測不能の社会の情勢、又今後も起こりうる突発的な災害等に備え現状としてすべきこととは何かそして今後の経営方針を改めて問う時期であると痛切に自問いたします。今回のデータは令和 5 年 2 月～令和 6 年 1 月までの決算期内のデータとなります。

加工受注量、及び生産量と、材料等の使用量は比例しますが、生産工程の効率化を高め、不良率の削減に努め水資源、エネルギー、物質投入量の削減を目指すのは常に課題であります。今後変動する働き方も含め全社員に活動の理解と周知を行い、柔軟で効率的な活動へそしてどのような状況下でもより良い活動と行動を伴うように推進させていきたいと思いをします。

令和 6 年 5 月 24 日

三友電化 株式会社

代表取締役 澤中 和弥



役割、責任及び権限表

対象者	役割、責任・権限
代表者	・ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。
	・ 環境経営に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する。
	・ 効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定める。
	・ 環境経営に必要な資源（人・もの・資金・情報）を用意する。
	・ 環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	・ 環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知
	・ 全社組織への EA21 活動実施の統括
	・ EA21 活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告
	・ 内外環境コミュニケーションへの対応
	・ 問題点の是正処置の統括
EA21 事務局	・ 環境管理責任者の補佐
	・ EA21 活動に関する事務
部門責任者	・ 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知
	・ 部門内 EA21 活動の実施指揮及び部門内 EA21 活動結果のとりまとめ
	・ 問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	・ 環境経営目標、環境経営計画等に基づく EA21 活動の実施
	・ EA21 活動に関する提案